



第13回

CSデザイン賞

THE 13TH CS DESIGN AWARDS 2004

1	審査員講評 永井一正
2	大 賞
4	A: 装飾部門
7	B: サイン部門
10	C: 輸送機器部門
10	D: 実験部門
12	審査員講評 橋田繁雄／菊竹清訓／内田 繁／佐藤 卓
16	ご挨拶 中川幸也
	応募要項
	表紙デザイン／永井一正
2	GRAND PRIX AWARD
4	A: DECORATION CATEGORY
7	B: SIGN CATEGORY
10	C: TRANSPORT MACHINE CATEGORY
10	D: EXPERIMENT CATEGORY
14	JUDGES' COMMENTS Kazumasa Nagai / Shigeo Fukuda / Kiyonori Kikutake / Shigeru Uchida / Taku Sato
16	ACKNOWLEDGEMENT Yukiya Nakagawa
	SOLICITATION CONDITIONS Cover Design by Kazumasa Nagai

充実してきたCSデザイン

永井一正

CSデザイン賞も第13回を迎えたが、発足以来もう23年になるという。この間ずっと街の環境・美観のために貢献してきた意義はとても大きい。今回も力作が寄せられたように思う。大賞の清水征行の〈デザイン・デパート会場デザイン〉は昨年の秋開催され大成功した「世界グラフィックデザイン会議・名古屋」の開催記念イベントの一つとしてJR名古屋タカシマヤでJAGDA会員のグラフィックデザイナーがデザインした様々な商品を販売するフロアを1週間新設したもので、その白地に赤の大胆なフロアサインは圧巻であった。タイポグラフィとエスカレーターのシンプルな形が、会場を真上から見ると、実際のフロアガイドのようになっているというアイデアによってデザイン・デパートにふさわしい新鮮な空間を演出した。CSが極めて効果的に使用されていたと思う。

装飾部門の金賞になった中村隆治ほかの〈そごう心斎橋店〉の仮囲いは、アーティスト、イチハラヒロコが作品として発表し続けている白地に黒いゴシック体で書かれた、一見何気ない言葉のフレーズが関係なく並べられているにもかかわらず何か心にひっきり強い印象を受けるシリーズを、大胆に街の仮囲い全面に使用したのは、とても新鮮で人々の心に残ったと思う。

サイン部門金賞の久田邦夫ほかの〈日テレTOWER Studio Graphic〉は、大きな4つのスタジオに赤・青・黄・緑の4色を大胆に使用し色別し、スクエアのドットを共通シンボルにすることによって、精度の高いデジタルメッセージを伝えることに成功している。放送スタジオにふさわしい優れたデザインである。この部門では平野隼太郎の〈国立国会図書館関西館サイン計画〉そして廣村正彰ほかの〈泉ガーデンサイン計画〉は共に質の高いもので優れたサインによって環境がいかに分り易く魅力的になるかということを示した。

実験部門金賞のジョン・クルメリングと浅葉克己の〈ステップ イン ブラン〉は高さ19.5mものユニークな構造を持つ広告塔に、この地の温泉、スキー場等を様々な書体によって表示し、全体としてアート性の高いサイン塔になっていた。ほかにも色々ふれたい優れたデザインがあり、今年の充実さを感じたが、輸送機器部門は応募数も少なく課題を残した。

(グラフィックデザイナー)



Kazumasa Nagai

## 大 賞

作品名／＜デザイン・デパート＞会場デザイン

ディレクター／清水恒行

デザイナー／清水恒行＋中嶋達彦＋樋口寛人

クリエイティブディレクター／松井佳三＋奥村毅正

クライアント／デザイン・デパート実行委員会（社団法人日本グラフィックデザイナー協会、世界グラフィックデザイン会議開催運営

会）

施工／株式会社ノムラディオウエスト



## GRAND PRIX AWARD

Title / "Design Department Store" Exhibition  
Site Design



Director / Masayuki Shimizu  
Designer / Masayuki Shimizu + Tatsui Mure + Hiroto Higuchi  
Creative Director / Keizo Matsui + Yukimasa Okumura  
Client / Design Bazaar Organizing Committee, Japan  
Graphic Designers Association Inc., Steering Committee for  
2003 Icofraga Congress Nagoya, Japan  
Constructor / Nomra Duo West



## A: 装飾部門

金賞 作品名/そごう心斎橋店 仮囲いアートプロジェクトvol.1

## A: DECORATION CATEGORY

Gold Award Title / Sogo Shinsaibashi Department Store Temporary Fence Art Project vol.1



ディレクター/中村隆治+山本 匠+池田 猛  
アートプロデューサー/村井久美  
アーティスト/イチハラヒロコ  
クライアント/株式会社そごう  
施工/株式会社竹中工務店  
加工/株式会社ローヤルカラー

Director / Ryuji Nakamura + Kyo Yamamoto + Takeshi Ikeda  
Art Producer / Kumi Murai  
Artist / Hiroko Ichihara  
Client / Sogo Co., Ltd.  
Constructor / Takenaka Corporation  
CS Processor / Loyal Color



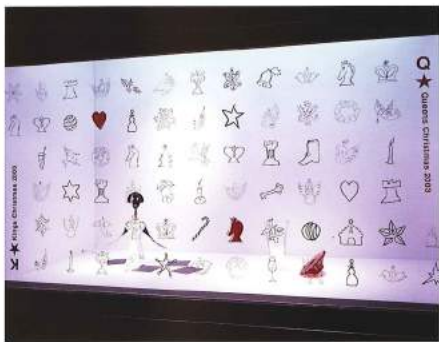
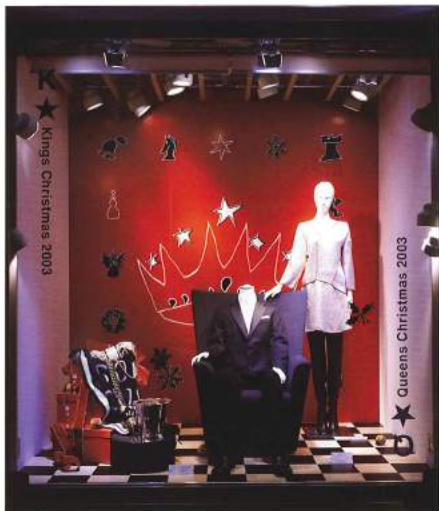
銀賞 作品名／八幡ねじ 展示会2002～2004ディスプレイ・サイン業務

Silver Award Title / Yahata Neji Corporation Exhibition Display Signs



ディレクター／平野遼太郎  
デザイナー／平野遼太郎＋安藤剛史＋穂田啓介  
クライアント／株式会社八幡ねじ  
撮影／平野遼太郎

Director / Kotaro Hirano  
Designer / Kotaro Hirano + Takeshi Ando + Keisuke Ueda  
Client / Yahata Neji Corporation  
Photo / Kotaro Hirano



ディレクター／田中寛志  
デザイナー／内田浩子  
イラストレーター／寺門孝之  
クライアント／株式会社松屋  
エージェンシー／株式会社エムアンドエー  
施工／株式会社CBK  
加工／有限会社東京第一工房

Director / Hiroshi Tanaka  
Designer / Hiroko Uchida  
Illustrator / Takayuki Terakado  
Client / Matsuya Co.,Ltd.  
Agency / M&A Co.,Ltd.  
Constructor / CBK Co.,Ltd.  
CS Processor / Tokyo Daiichi Koubou



## B: サイン部門

金賞 作品名/日テレTOWER Studio Graphic

## B: SIGN CATEGORY

Gold Award Title / NTV Tower Studio Graphics



ディレクター/久田邦夫  
デザイナー/久田邦夫+真野元成+  
山田昭仁+桑島 誠  
クライアント/日本テレビ放送網株式会社  
施工/株式会社丹青社

Director / Kunio Hisada  
Designer / Kunio Hisada +  
Motonari Mano + Akihito Yamada +  
Makoto Kuwashima  
Client / Nippon Television Network  
Corporation  
Constructor / Tanshisha Co., Ltd.



ディレクター／平野 達太郎  
デザイナー／平野 達太郎・安藤 剛史  
建築設計・サイン監修／岡野二三男建築研究所  
クライアント／国土交通省近畿地方整備局＋  
国立国会図書館関西館  
撮影／平野 達太郎

Director / Kotaro Hirano  
Designer / Kotaro Hirano + Takeshi Ando  
Architect-Sign Editor / Fumio Toki Associates  
Client / Kinki Regional Development Bureau +  
Kansai-kan of the National Diet Library  
Photo / Kotaro Hirano

銅賞

作品名/泉ガーデンサイン計画

Bronze Award

Title / Izumi Garden Sign Project



左側  
ディレクター/廣村正彰  
デザイナー/永野佳史  
イラストレーター/舟橋全二  
クライアント/泉ガーデン  
マネジメント株式会社  
施工/株式会社びこう社

右側  
ディレクター/廣村正彰+  
藤田克美  
デザイナー/木佐野英彰  
カメラマン/舟井正明  
クライアント/名城大学  
施工/株式会社コトブキ



Left:  
Director / Masaaki Hiromura  
Designer / Yoshifumi Mizuno  
Illustrator / Zenji Funabashi  
Client / Izumi Garden  
Management Co.,Ltd.  
Constructor / Bikohsha Inc.

Right:  
Director / Masaaki Hiromura +  
Katsumi Fujita  
Designer / Hideaki Kishino  
Photographer / Masaaki Imai  
Client / Meijo University  
Constructor / Kotobuki Co.,  
Ltd.

銅賞

作品名/名城大学サイン計画

Bronze Award

Title / Meijo University Sign Project





## C: 輸送機器部門

銀賞 作品名/イベント<ハイパーミーティング2003>イメージ SHOW CAR

ディレクター・デザイナー/大庭瑠二郎  
クライアント/(株) ニュース出版ハイパーミーティング事務局  
エージェンシー/株式会社博報堂クリエイティブ・ヴェックス  
施工/GTSマーケティング



## C: TRANSPORT MACHINE CATEGORY

Silver Award Title / "Hyper Meeting 2003" Image Car

Director-Designer / Reijiro Oba  
Client / Secretariat of Hyper Meeting, News Publishing Co., Inc.  
Agency / Hakuhodo Creative Vox Inc.  
Constructor / GTS Marketing

## D: 実験部門

金賞 作品名/<ステップ イン プラン>

ディレクター(テキストデザイン)/浅葉克己  
ディレクター(建築)/ジョン・クルメリング  
クライアント/株式会社アートフロントギャラリー  
施工/エー・アイ・エム株式会社



## D: EXPERIMENT CATEGORY

Gold Award Title / "Step-in-Plan"

Director (Text Design) / Katsumi Asaba  
Director (Construction) / John Kormeling  
Client / Art Front Gallery Inc.  
Constructor / A.I.M. Corporation

銅賞 作品名/<An Oral Orbit>

ディレクター・アーティスト / 佐藤 勲  
 クライアント / 三井不動産株式会社 + 東急不動産株式会社  
 アートコンサルタント / ナンジョウ アンド アソシエイツ  
 施工 / 清水建設株式会社  
 加工 / 株式会社ノムコムス

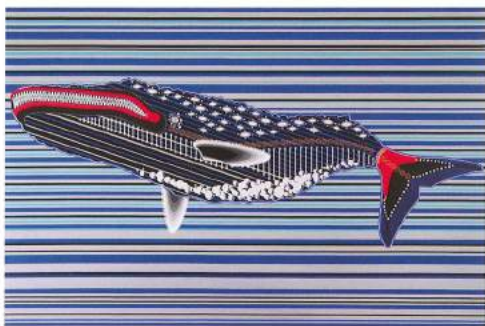


Bronze Award Title / "An Oral Orbit"

Director-Artist / Isao Sato  
 Client / Mitsui Fudosan Co., Ltd. + Tokyu Land Corporation  
 Art Consultant / Nanjo and Associates  
 Constructor / Shimizu Corporation  
 CS Processor / Nomura Coms Co., Ltd.

銅賞 作品名/<Catfish><Whale>

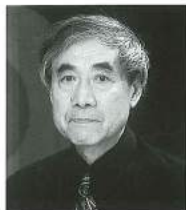
デザイナー / 渡辺俊博  
 加工 / 高橋 晋 + 熊名太一



Bronze Award Title / "Catfish" "Whale"

Designer / Toshihiro Watanabe  
 CS Processor / Susumu Takahashi + Taichi Shiina





福田繁雄  
Shigeo Fukuda



菊竹清訓  
Kiyonori Kikutake



内田 繁  
Shigeru Uchida



佐藤 卓  
Taku Sato

### 〈超CS〉 福田繁雄

〈カラー模面〉カッティングシートを、どう使うか、ではなく、何処の何に使うか、という新しい挑戦の幕開きになった感がある。平凡な使い方は表現(デザイン)の新鮮さが要求されることになり、新しい使い方の発見は賞賛されるという必然性がある。

フロア(床面)という平面に、立面視点のフロア誘導サインというユニークなデザインが登場し注目を浴びた、デパートという最もポピュラーな商業空間に必要な発想は非日常的な遊びのデザイン、エスプリの効いたユーモアだと思う。立面図のエスカレーターの効果が大賞をも誘導する結果となった。

建築現場の板囲いのデザインもカッティングシートの独壇場の常連。図柄でなく、現代アートの文字を起用して、通行する人々の「今」の心を捕えて目障りで空間を圧する囲いを消した発想は見事だった。体感するサインの出現はデザインの夢でもあったが、テレビスタジオの扉に高いレベルで登場して、それぞれ金賞に輝く結果になった。

サイン板に具象的な意味をもたせる、造形的に面白くデザインする。このコンセプトのサイン計画は皆無だった。色を抑えた環境空間にホットな赤いサインオブジェは生き生きとして、新しい「場」を見事に創りあげた(泉ガーデン)と、建造物内部のサイン計画に写真パネルによる環境自然、時間的季節を増殖させた(名城大学サイン計画)。デザインに必要なコンセプトが新鮮な発想によって見事に定着した両作品が当然のように入賞を果たした。

第13回を迎えた今回の入賞作品はカッティングシートの効果的な使い方コンクールの意義を越え、デザインそのものの根源的な在り方への指針を見せてくれた作品群の饗宴だった。

(グラフィックデザイナー)

### CSデザイン賞審査について 菊竹清訓

審査については13回を迎え、そろそろその方法について考える必要があるかもしれません。今回は分野別に分けて審査をしました。この区分はおおむねよかったのではないかと思います。が、今後は新しいカッティングシートの使われ方が出てくるのではないのでしょうか。たとえば特にある1つの店舗とか1つのモチーフの提案というだけではなく、いくつかの店が並んだショッピングセンターの中のトータルな空間がどうなのか。全体として変化と多様性を持ちながら、それぞれ調和したデザインになってくることが大切です。つまり1つの街の通りがカッティングシートを使うことで全体としての通りの性格付けをしていくことになるでしょう。さらにもっと広く言えば、景観に関わる問いかけも出てきてほしいと思います。日本の景観は四季の変化や天候の具合で実に微妙ですが、これを日本文化の一つとして高める新たな領域の分野がひとつ出てくることになります。そうして自治体などがふるって参加されることを私は期待しています。

次に応募された作品についてです。特に大賞を受けたのはデザインの展示会の案でしたが、非常に思いついて白と赤で統一した会場構成は大変印象的でした。そこに使われた模様とか、図案とか、文字など、少し工夫がいるかもしれませんが、ここまで多種多様なデザイナーの作品をこういう会場でまとめあげることの大変さは、評価をしたいと思います。

分野別では、自動車は今回は少なかったのですが、おもしろい自動車のカッティングシートのデザインが多くなってきていますし、加えて列車のデザインなど、楽しみな分野ではあります。

店舗については段々上手になってきて、モアレをつかったデザインなどは非常に手馴れた使い方が上手な仕掛けです。今回は特に驚かされるような際立ったものは少なかったのですが、あるレベル以上の楽しい作品が票を集め、

そのまま入賞の順位に繋がったと思います。

個々の文字や色彩は格段によくなったと思います。これから参加される方々に対して望むとすれば、より実験的な試みがでてくればと期待しています。

(建築家)

## CSの色彩の美しさと厳密な精度

内田 繁

今年の審査を通して感じたことは、もはやカッティングシートはデザイン表現の素材としては欠くことのできないものとなりつつあるといったことだ。それは仮設の展示空間から常設の建築空間にいたるまでさまざまに使用されている。かつて、人間の手にによって画かれていた文字、パターンはテクノロジーによって厳密に複製される。その精度の良さは見る人にある種の爽快感を与える。また色彩にいたっては、とても建築的技法では実現できそうもない彩度がいとも簡単に空間を彩る。まさに私たちにとっては格好な素材だといえる。

今年度大賞となった〈デザイン・デパート〉の会場デザインなどは、その大胆で精密なデザインが注目されたのだが、こうした空間を実現できたのもカッティングシートによるところが大きい。白の素空間に鮮やかなパターンとも文字ともつかない模様の赤で構成された空間は、その精度と耐久性が圧巻であった。とくに床にデザインされたパターンは人が土足で歩き回るところである。

また装飾部門の金賞となった〈そごう心斎橋店〉の仮囲いプロジェクトも仮囲いに文字だけで構成されたデザインだが、単純ながら大胆な文字扱い視覚的な強さをつくりだす。さらに、そこに印されたコピーの意味がこの仮囲いといずれ開店されるであろう百貨店の内容を期待させる。これもまた文字を製作する精度に由来するのである。

サイン部門の金賞となった〈日テレTOWER Studio〉のグラフィックデザインも建築空間に美しい色彩とパターンで構成された秀作である。そして最後に実験部門の金賞に輝いた〈ステップイン プラン〉は、かつてのロシア構成主義を彷彿とさせるような文字構成である。雑多に点在されたように構成された文字は、そのひとつひとつに個性があり、味わいのあるものである。

このように多様に展開されるカッティングシートはその色彩の美しさと厳密な精度に裏打ちされたものである。

(インテリアデザイナー)

## 空間の価値を変えるグラフィックの力

佐藤 卓

このCSデザイン賞の審査会で多くの仕事を拝見させていただき、環境空間に於いて、いかにグラフィック要素が空間に大きく影響を与えているかを再確認できた。グラフィックが、空間そのものの価値を変えてしまうだけの力を持っているということ。そのことは、ファインアートでは明解に表現され実験が試みられ、あるいは語られてきたことだが、環境空間・建築などにおいては、当然その他の要素も合わせて語られる場合が多いため、ここまでグラフィックを取り出して、その影響力を見えるということは通常あまりないことである。そのような意味でこのCSデザイン賞の対象は、ただ単にカッティングシートの可能性を探ることに留まらず、環境空間に於いてのグラフィックデザインの可能性、もしくは影響力を探るという意味でとても興味深いメディアであると認識することができた。

あくまで視覚に於いての健全者を前提に考えてのことであるが、建築も人はそれを部分的に視覚から捉え始める。全体というのは、その部分を頭の中で組み立てて把握することになる。地下駐車場から思いも掛けずにその建築に入り

込むことだって、普段よくあることである。大きな建築にもなると、何度足を運んでもその全体がつかめないことなど誰でもよく経験している。そう考えた時に、我々は建築ひとつとっても、視覚から入ってくる情報を組み立てて認識しようとしていることが分かる。もちろん、空間は身体全体で把握しているという言い方もできるが、歩いて足の裏から感じる情報などは、特別な違和感もしくは新しい感触のあるものを除き、通常は無意識に感じている。視覚から入る情報は、意識が向きやすい情報と言っても過言ではない。このように考えると、ここで扱われている視覚のメディアがいかに影響力を持っているのかを理解できることと思う。

ひとつだけ作品についてここで記させていただと、〈そごう心斎橋店仮囲いアートプロジェクト〉は、グランプリになってもおかしくない素晴らしい仕事と私は評価している。これからも更に、空間や環境の価値を変えてしまうほどのメッセージ性の高い仕事が生まれることを期待している。

(グラフィックデザイナー)

## CS Design Now Rich in Content Kazumasa Nagai

These are the 13th CS Design Awards, so that 23 years have passed since they were first established. During these years, the significance of CS design's contribution to the urban environment and beauty is very great. I believe that outstanding works were submitted again this year.

Masayuki Shimizu's "Design Department Store" Exhibition Site Design, which won the Grand Prix Award, was one of the commemorative events marking the holding of the 2003 Isograda Congress Nagoya, which was a huge success in the fall of 2003. It covered for one week the floor of the JR Nagoya Takashimaya Department Store where various goods designed by JAGDA member graphic designers were sold, and the bold red-on-a-white-background floor signs were overwhelmingly outstanding. Through the idea of the simple forms of typography together with the pattern of escalators becoming an actual floor guide when viewed from above, a fresh space appropriate for a design department store was produced. I believe that design sheets were very effectively utilized.

The Sogo Shinsaihashi Department Store Temporary Fence Art Project by Ryuuji Nakamura won the Gold Award in the Decoration Category. The bold use on the temporary fence of the series by artist Hiroko Ichihara, in which phrases of outwardly casual words of black Gothic on a white background are lined up randomly, was very refreshing and memorable.

The NTV Tower Studio Graphics by Kunio Hisada and others, which won the Gold Award in the Sign Category, boldly used the four colors of red, blue, yellow and green on the four studios and differentiated them by color. By making the square dots the joint symbol, it succeeded in transmitting a highly accurate digital message. It is a superior design appropriate for a broadcasting studio.

In the Sign Category, the Signage for the Kansai-kan of the National Diet Library by Kotaro Hirano and the Izumi Garden Sign Project by Masaaki Hiromura were both of high quality and indicated how superior design can make the environment easier to understand and more appealing.

The "Step-in-Plan" tower by John Kormeling and Katsumi Asaba, which won the Gold Award in the Experiment Category, indicated by various calligraphic styles the hot springs, ski grounds and other sites of the area on the uniquely structured

19.5 meter tall advertising tower, so that overall it was a very artistic sign tower.

There were many other outstanding designs that I would have liked to comment on, so I was made to feel the richness of the works submitted this year. But the number of works submitted in the Transport Machine Category was small, thereby leaving this problem unsolved.

Graphic Designer

## "Ultra CS" Shigeo Fukuda

There is the impression of the curtain raiser of the new challenge of, not how to use cutting sheets, but of in what form and where to use cutting sheets. Freshness in expression is demanded in ordinary use, and the discovery of a new way of use has the inevitability of being praised.

Interest was focused on the unique design of the three-dimensional floor guidance sign on the flat floor. The ideas needed for the most popular commercial space called the department store are an unusual pleasure design and spirited humor.

Designs of temporary fences at construction sites are the monopolistic regulars of CS Design Awards. The idea of using modern art letters instead of a drawn design, thereby grasping the attention of passersby and erasing the offensive fence which dominates the space, was brilliant.

The appearance of signs which could be physically felt was the dream of design, but they appeared on a high level on the doors of television studios, resulting in the graphics winning the Gold Award.

Give signs a concrete meaning. Design formatively and enjoyably. Up to now, there had been no sign projects with these concepts. In the Izumi Garden Sign Project, hot red sign objects in an environmental space where color was restrained were lively and vivid and beautifully created a new space. The Meijo University Sign Project used photographic panels in the sign plan for the building interior to multiply the environmental nature and season. It was only natural that these two works, in which the concepts needed in design were wonderfully incorporated, won awards.

The award-winning works in the 13th CS Design Awards surpassed the meaning of a concours on the effective use of cutting sheets. It was a banquet of works which showed the guiding principle for the basic character of design itself.

Graphic Designer

## Judging the CS Design Awards Kiyonori Kikutake

This is the 13th time that works submitted for the CS Design Awards have been judged, but it seems that now there is the need to reconsider the judgment method. This time we judged the works after separating them into various categories. Although I believe that this categorization was generally good, won't new ways of using cutting sheets appear in the future? For instance, instead of proposals particularly for just one store or for just one motif, how about proposals for the total space within a shopping center in which several stores are lined up? It is important that individual stores have harmonious designs while the shopping center as a whole undergoes change and maintains diversity. In other words, through the use of cutting sheets along a street, the street as a whole can be given character. Going further afield, I want questions concerning the scenery to be asked. Japanese scenery is very subtle and changes with the seasons and weather, but a new category to elevate this as Japanese culture will appear. And I place hopes on local governments energetically participating.

Next, I would like to comment on the works submitted. As for the exhibition site design which won the Grand Prix Award, the site composition, which was very boldly coordinated in white and red, was most impressive. A little more ingenuity may be needed in the patterns, designs and letters used, but I would like to highly evaluate the difficulty of arranging the works of so many diverse designers in such a site.

As for the various categories, this time there were few works in the Transport Machine Category, but the number of interesting cutting sheet designs on cars has increased. On top of that, there are train designs, so the Transport Machine Category is a category with expectations.

As for stores, designers have gradually become skillful, and designs using *moiré* are expert works. This time there were few particularly surprising and conspicuous works, but I feel that pleasant works above a given level won votes and were given awards.

I believe that individual letters and colors were markedly improved. As for what I look forward to from designers submitting works for the CS Design Awards, I hope that more experimental attempts will be submitted.

Architect



## Beautiful Colors and Precise Accuracy of CS Shigeru Uchida

What I felt when judging the works submitted this year was that the cutting sheet is now becoming indispensable as a material for design expression. The cutting sheet is now being used in many places, from temporary exhibition spaces to permanent architectural spaces. Letters and patterns, which had previously been drawn by human hands, are now being precisely reproduced by technology. The level of accuracy gives viewers a sort of exhilarating feeling. As for color, vivid colors which could not possibly be produced by architectural technique now easily color space. It can be said that the cutting sheet is a brilliant material for us.



審査風景

Judging scene

Interest was focused on the bold and precise designs of the Design Department Store Exhibition Site Design and others, but the realization of such spaces was due in large part to the cutting sheet. The accuracy and durability of the space consisting of a red design, which could be either vivid patterns or letters, on a bare white space were magnificent. The pattern was designed on the floor, the place where people walk around in their shoes.

As for the Sogo Shinsaihashi Department Store Temporary Fence Art Project, which won the Gold Award in the Decoration Category, the design consisted only of letters on the temporary fence, but the simple and bold use of letters created a visual powerfulness. Furthermore, the meaning of the phrases makes us look forward to the contents of the department store when it opens. This also is derived from the accuracy when producing the letters.

The NTV Tower Studio Graphics, which won the Gold Medal in the Sign Category, is also a masterpiece consisting of beautiful colors and patterns in an architectural space.

Finally, the Step-in-Plan tower, which won the Gold Award in the Experiment Category, was a lettering composition which closely resembled the former Russian constructivism. Every one of the letters, which appear to have been randomly scattered, has individuality and taste.

The cutting sheet, which has been developed in such diverse ways, is backed by the beauty of its colors and its precise accuracy.

Interior Designer

## Power of Graphics Can Change Value of Space

Taku Sato

In judging the works submitted, I was able to view the many works submitted and to re-recognize the major influence graphic elements have on environmental space. This means that graphics have enough power to change the value of space itself. This has been clearly expressed and talked about in fine art. But because there are many cases in which other elements are naturally talked about in environmental space and architecture, normally there are few cases in which graphics are taken up and their influence is recognized. In this sense, it can be recognized that the works submitted for the CS Design Awards are very interesting media in the sense that they not only search for the possibilities of cutting sheets, but also for the possibilities and influence of graphic design on environmental space.

This is based solely on the premise of the vision of a person with sight, but such a person grasps a building visually part by part. As for the entire building, the person grasps the whole through assembling the parts in his head. People often and unexpectedly enter a building via the basement parking space. In the case of a big building, everyone has had the experience of not being able to grasp the entire building no matter how many times one visits the building. When we consider the matter in this manner, we can understand that we recognize a building after assembling the information coming in through our eyes. We can, of course, say that we grasp space with our entire bodies, but usually we unconsciously feel the information from the soles of our feet when we are walking, excluding those with a special incompatibility or those with a fresh touch. It would not be an exaggeration to say that information that comes in through the eyes is information toward which interest is easily directed. Consequently, it can be understood that the visual media we are dealing with here have great influential power.

If I may make just one comment on the works submitted, I evaluate the Sogo Shinsaihashi Department Store Temporary Fence Art Project as an outstanding work fully worthy of the Grand Prix Award. I place great hopes on works with great messages which can change the values of spaces and the environment being created in the future.

Graphic Designer



## 中川幸也

第13回CSデザイン賞の開催にあたり、全国から多数のご応募を戴き、また審査員の先生方ならびに諸団体、関係各位の皆様方より変わぬご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

一般的に装飾用粘着シートと呼ばれているカッティングシートが開発されて間もない頃、開発者の中川ケミカルでは、この色の素材が将来バリエーションに並ぶ大型素材になることを確信しておりました。

大型素材は両刃の剣です。適切に育てるためには、使い方の道しるべが必要と感じ、良いデザインに向けての啓蒙活動と色の公害防止も考え、このCSデザイン賞設立の運びとなりました。

それから23年、第13回を迎える今日、この貼る素材は適切に我々の生活空間を彩り続け、今や量、質共に業界の定番素材として、見事に成長致しました。

私共はこの間、しっかりと、その成長を見守り、道しるべとしての役割を果たし続けたこのCSデザイン賞の存在意義を確信しております。そして今日の“貼る”の延長線上には、コンピューターによる自動カッティング方式や、印刷技術の画期的な進歩があり、短時間で驚く程大規模な表現が可能になった結果、使用量の増加と共にシート材料による景観への影響力が急速に増えることになりました。今こそ原点に戻り、“大型素材は両刃の剣”を拡大再認識すべき時であると思います。

素材や技術の進歩を期待する一方で、これらが適切に使われる道しるべ的役割としてのこのCSデザイン賞の意義もまた、ますます強くなっているのではないのでしょうか。

その意義を大切に受け止め、これからも力強く続けて行く所存です。今後共、全国の皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

なお今回から審査員に新しく佐藤卓先生をお迎えして、審査の先生方が5名に揃いました。ここにご報告させて頂きます。

(株式会社中川ケミカル代表取締役社長)

## Yukiya Nakagawa

In connection with the 13th CS Design Awards, I would like to sincerely thank the many designers from all over the country who submitted works, the elite judges and those concerned of the various organizations which have continued to give unfailing support.

Soon after the development of the cutting sheet, which is generally called a decorative adhesive sheet, developer Nakagawa Chemical Inc. firmly believed that this color material would become a large-sized material comparable to paint. A large-sized material is a double-edged sword. Feeling that a guide to how to use this material was needed in order to properly nurture this material, Nakagawa Chemical took into consideration the educational activities for good design and the prevention of color pollution and established the CS Design Awards.

Twenty-three years later and the 13th CS Design Awards today, this adhesive material has continued to appropriately color our life spaces, and the cutting sheet has wonderfully matured as a firmly fixed material, both in quality and quantity.

During all these years, we have firmly watched its growth and are convinced of the significance of the CS Design Awards, which has continued to play its role as a guide. Today, as an extension of “pasting,” there have been the automatic cutting method by computer and the epoch-making advances in printing technology, resulting in surprisingly extra-large expressions becoming possible in a short time. Consequently, along with the increase in the quantity used, the influence of this sheet material on the scenery was speedily increased. We feel that now is the time to return to our starting point of a “large-sized material is a double-edged sword” and reconsider it in an expanded manner.

While we place hopes on advances in materials and technology on the one hand, isn't the significance of the CS Design Awards as a guide for appropriate use of cutting sheets becoming bigger and bigger? While seriously acknowledging the significance, we intend to continue exerting strong efforts in the future. We would like to ask for the kind support and cooperation of everyone throughout the country.

This time Taku Sato served as a new judge for the 13th CS Design Awards.

President, Nakagawa Chemical Inc.



## 第13回CSデザイン賞2004募集要項

「色を通じて社会貢献したい」と願う中川ケミカルが豊かな環境作りを目的にCSデザイン賞を設定し、広く作品を募集します。

### 募集作品

「貼る塗料」として、一般に市販されているサイン・デザイン・装飾用粘着シート(例(商品名):カッティングシート、タフカル、NOCSなど)を使用したもので2002年4月1日より2004年3月31日までにデザイン制作された作品とする。

- A: 装飾部門/装飾を目的として制作されたもの**  
建築ファサード・エクステリア・ウインドーディスプレイ・店舗・インテリア・イベントの空間(原則として閉会時に撤去されるもの)など
- B: サイン部門/サイン及びサインシステム(CIも含む)の一部として制作されたもの**  
大型広告塔から店舗小型サイン・交通施設・住環境施設・複合施設のサインシステム  
シンボル、モニュメント(記念碑・時計塔など象徴的でかつアイデンティティの強いもの)
- C: 輸送機器部門/車・航空機・船舶などの輸送機器全般の装飾(スポーツ・レジャー施設の乗り物も含む)**
- D: 実験部門/平面・立体を問わず独創性のある作品**  
芸術・工芸作品・実験的なもの・その他(既発表、未発表を問わない)

### 審査員(順不同、敬称略)

永井一正(審査委員長)  
福田繁雄  
菊竹清訓  
内田 繁  
佐藤 卓

### 後援団体(順不同)

社団法人 日本グラフィックデザイナー協会  
社団法人 日本商環境設計家協会  
社団法人 日本サインデザイン協会  
社団法人 全日本屋外広告業団体連合会  
社団法人 日本ディスプレイ業団体連合会  
社団法人 日本ディスプレイデザイン協会  
NPO法人 日本タイポグラフィ協会

### 協賛 日経デザイン

主催 株式会社中川ケミカル

## The 13th CS Design Awards 2004 Solicitation Conditions

The Nakagawa Chemical Inc., which is hoping for a "Better World Through Color," established the CS Design Awards with the aim of creating a rich environment and is soliciting works for these awards.

The works to be submitted must have been designed and produced between April 1, 2002, and March 31, 2004, using any type of self-adhesive film for graphic applications generally sold as "pasting paint," such as Cutting Sheets, Tuffcal, NOCS and others.

**A: Decoration Category/** Those produced for decoration: Building facades, exteriors, window displays, stores, interiors and event spaces (in principle, those that are removed after completion).

**B: Sign Category/** Signs and works produced as part of a sign system (including CI): Large advertising towers, small store signs and sign systems of traffic facilities, housing environment facilities and comprehensive facilities. Also symbols and monuments: Works which are symbolic and have strong identities such as monuments and clock towers.

**C: Transport Machine Category/** Decoration of transport machines such as vehicles, aircraft and ships. Includes rides at sports and leisure facilities.

**D: Experiment Category/** Works with originality regardless of whether they are two- or three-dimensional. Arts, crafts, experimental works and others (can be either published or unpublished, submitted to other competitions or not).

### Judges

Kazumasa Nagai (Chief Judge)  
Shigeo Fukuda Kiyonori Kikutake  
Taku Sato Shigeru Uchida

### Supporters

- Japan Graphic Designers Association
- Japanese Society of Commercial Space Designers
- Japan Sign Design Association
- Japan Typography Association
- Federation of All Japan Outdoor Advertising Association
- Nippon Display Federation
- Japan Display Designers Association

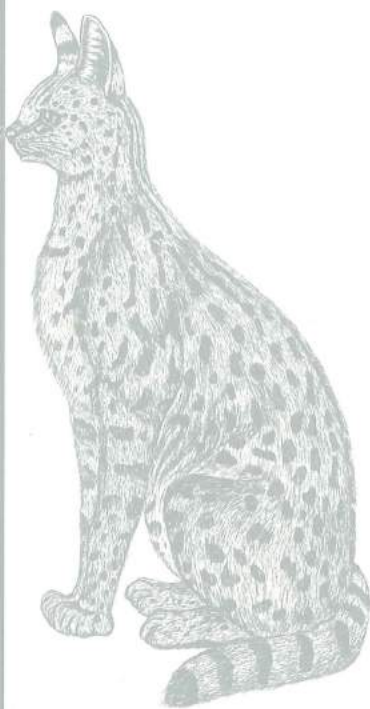
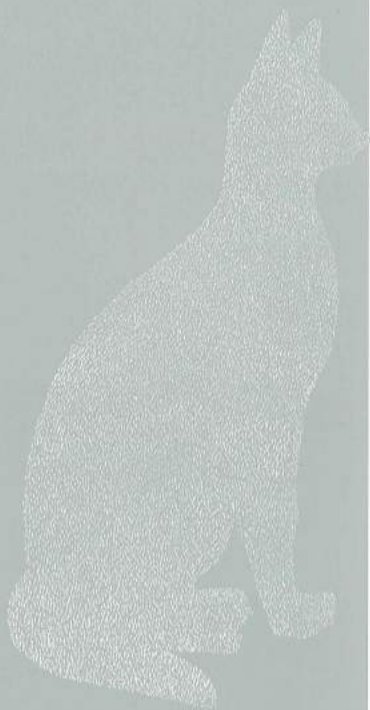
### Cooperator Nikkei Design

### Sponsor Nakagawa Chemical Inc.

カタログ制作/株式会社中川ケミカル 第13回CSデザイン賞係 2004年7月

編集/グラフィックデザイン社  
表紙デザイン/永井造形研究所  
レイアウト/中山ミミ  
英訳/藤田シグ

Catalogue Production:  
The 13th CS Design Awards Section,  
Nakagawa Chemical Inc., July 2004  
Edited by Graphic Design Associates  
Cover Design: Kazumasa Nagai Design Institute  
Layout: Mimi Nakayama  
English Translation: Shig Fujita



本社:〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-1-6 岩田屋ビル4F TEL 03(5835)0341 (代)  
大阪営業所: TEL 06(6543)2661 (代) 札幌営業所: TEL 011(736)4788 (代) 福岡営業所: TEL 092(431)3013 (代)  
NAKAGAWA CHEMICAL INC.  
Head Office: Iwataya Bldg., 2-1-6 Higashi-Nishiohashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0004, Japan, TEL 03(5835)0341  
Osaka Office: TEL 06(6543)2661 Sapporo Office: TEL 011(736)4788 Fukuoka Office: TEL 092(431)3013